

# 会 議 名

令和4年度第5回 生活支援事業連絡会

開催日時	2022年9月21日(水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第1会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏 ひがし包括：金子氏 きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 にし包括：杉山(記録)

## 議 事 内 容

- 1 プロボノワークショップについて
  - ・10/8(土)PM14:00~16:00 第二庁舎801にて開催。
  - ・プロボノワーカー参加。
  - ・地域住民向け開催案内文書を、包括経由で配布。
  - ・キックオフミーティング、オンライン開催予定。2層コーディネーターも参加してほしい。9/27または10/3~10/7の勤務時間外で開催の可能性。
  - ・9/6開催のワークショップを受けて9/14オンラインで振り返り。それをもとに啓発パンフレットのたたき台を作成した。A4サイズ二つ折り(案)。内容を2層コーディネーター確認し、9/27(火)一層協議体終了後に意見交換する。
- 2 第1層協議体について
  - ・高良先生、市で事前打ち合わせ行い、「お金の困りごと」については東京ホームタウンプロジェクトでの取り組みを報告。「お金～」については、第1層協議体で協議する必要はなく、東京ホームタウンプロジェクトで進めていくことになった。
  - ・次の議題について、今年1~6月の個別課題抽出中分類の中で検討。「生活支援」の中で「ちょっとした手伝い」「生活支援」の2つの項目が多い。その中でも今日の前の困りごとである「ちょっとした困りごと」について取り上げる方向で行く。
  - ・まごころサポートについて紹介。9/17~スタートしたばかり。申込み後、コンシェルジュが付き、継続してサポートしてくれる。
  - ・事前送付の次第書「R4年度4月から7月活動報告」については、一人あたり3分程度を予定。
- 3 令和4年度応援マップについて
  - ・業者と契約済み。入札下りれば、12/23頃、4,000部納品予定。
- 4 令和4年度第2回サブスタッフ講座修了生交流会について
  - ・11/29(火)AM開催。
  - ・前回決まらなかった、サブスタッフネーミングを決める。
  - ・2層コーディネーターから地域の通りの場の活動紹介と参加を促してほしい。
  - ・スタッフ卒業後、どのような活動をしたいのかヒアリングを行ってもいいのでは…。
  - ・既存のグループで活動し経験を積んだ後、自らグループ立ち上げのイメージを作ってもらえる方向に話を進められたらと思う。
  - ・さくら体操自主グループでのリーダー欠員を埋めたいとの希望も聞かれる。各圏域にボランティア募集コーナーがあってもいいかもしれない。11/29交流会でもPRしてもらえるか、みなみ包括で開催予定のサロン連絡会で声掛けしてみてもいいのでは。
  - ・前回交流会のグループワークで「サブスタッフを続けたいのに、なぜ辞めなければならないのか？」との意見があった。交流会の目的を明確にしたうえで開催した方がよい。サブスタッフとしてこれからどうしたいのか、個別のアセスメントも必要。
  - ・交流会の開催案内は、1~6期生へ送付している。年3回の開催を予定。任期を迎えたスタッフの活動場所の紹介が目的。
- 5 スマホ講座・相談会について
  - ・スマホ講座9月開催分について、参加者名簿参照。今回は往復はがきによる申し込み受付。44名の申し込みあり、抽選を行った。
  - ・10月より定期相談会開催予定。ひがし包括金子さんにご協力いただき、菊屋文具店のぷらっとふぉーむで相談会開催する。12月以降3月まで、毎週1回開催予定。
  - ・東京都のスマホ相談会は来年度も開催予定。
  - ・相談会の周知行ってほしい。12月以降開催分のチラシは今後作成予定。データで送付する。
- 6 小金井市内訪問理美容実施店舗情報等について
  - ・R2年度に取りまとめたままのため、新たな情報あれば追加したい。各包括圏域の店舗情報確認してほしい。

## 7 リハ連体力測定について

- ・11/2(水)AM10:00~11:30 宮地楽器ホールにて開催。
- ・10月上旬、リハ連より各包括へチラシ配布予定。各通いの場に配布してほしい(さくら体操完全自主グループ含む)。さくら体操管理会場参加者は対象外。
- ・定員80名。申込は各包括センターへ。
- ・体力測定、ミニ講座を予定。

## 8 各圏域2層協議体開催状況について

(にし)

9/20(火)AM10:00~11:30 本町住宅にてサロン体験会を開催した。介護予防体操(I氏作成の「おうちでできる簡単体操」)、介護予防口腔体操DVD、脳トレプリント、地区担当民生委員・包括センター紹介、個別相談など。3回の住民との話し合いを経て開催した。JKK住まいるアシスタントには、話し合い参加からチラシ作成・掲示まで尽力いただいた。10月から第1・3(火)で定期開催予定。

(ひがし)

情報誌を作成。関係機関、地域住民、町会・自治会、民生委員、医療機関などに送付した。「敬老会を開催する場合は返事をほしい」との返信ハガキを同封したが「やらない」との回答がほとんどだった。これから内容を選定し、反応が良かったところへ2層協議体開催のアプローチをしたい。ちょっとした困りごと、コロナ禍の動向変化など聞き取りしたい。

(みなみ)

9/28(水)、4サロン集まり連絡会を開催する。関心の視点、困りごとなど、サロンの協議体になればいい。各グループから2名ずつ、計8名が参加予定。オンライン開催について意向を聞くと「いいわ」と希望されず。「集まれるから楽しい」との声聞かれる。サロン同士の行き来はまだ行っていない。

(きた)

毎月2層協議体を開催している。もともと地域の事業者の情報交換の場として月1回開催されている「ないまぜの会」に第2層協議体としての機能をもたせる形とした。まず、包括から梶野公園まつりに向けて、みまもりあいアプリイベントの開催を提案。そこに向けてゆっくりと話し合うなかで、ほかの参加者の活動についても意見交換ができるようになってきた。「こんなことを一緒にやりたい」という意見もどんどん出てきている。

主なメンバーは「おとなりさん」管理者、民生委員、にじいる薬局店主など。薬局は医療・介護のどちらにも詳しく、地域ケア会議に参加することが、地域体制加算取得の要件になるという、薬局にとってのメリットもある。

おとなりさん。の活動と民生委員の活動を合体した梶野公園の清掃活動には、日頃から情報交換しているセブン&アイの方も来てくれた。シニア向け新規サービスへのモニター協力などの思惑があるように思う。それに協力することで、こちらからはイベント実施の際の会場、景品の提供などについてお願いするなど、双方にメリットのあることを、今後何かやっていければと思う。

マップでの情報収集をきっかけに公民館で活動する若い世代(子供世代)にもつながった。何か一緒に取り組むことで多世代交流ができればいいし、子ども世代に包括を知ってもらい、アクセスしやすくなるとよい。

今後、緑町などほかの地域でも、ないまぜの会のような2層協議体を立ち上げていきたいと考えている。

(市)

- ・10/19(水)、介護予防ボランティア講座最終日。10名参加(男性2、女性8)。
- ・12/12(月)さくら体操リーダー研修会。既存のリーダーを循環させたい。管理会場リーダーを、完全自主会場へ移ってほしい。
- ・サブスタッフ養成講座、12/7~開始。1/13(金)「地域の社会資源を知ろう」の講義は、2層コーディネーターに講師役をお願いしたい。テキストを後日配布予定。(担当は、後日の連絡会で話し合う)。

次回開催予定 生活支援連絡会 10月18日(火)14時~

以上

# 会 議 名

令和4年度第6回 生活支援事業連絡会

開催日時 2022年10月18日(火) 14:00~16:00

開催場所 本町暫定第1会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏  
ひがし包括：金子氏 きた包括：松村氏 にし包括：杉山 みなみ包括：吉田氏（記録）

## 議 事 内 容

- 令和4年度第2回サブスタッフ講座修了生交流会について
  - 実施日：11月29日(火)10:00~12:00 萌え木ホールA会議室
  - 活動場所などのイメージをもって当日にのぞんでもらうため、事前アンケートでボランティア活動のニーズ調査を参加者に行う。そのため各圏域ボランティア募集をしている団体情報をアンケートへ掲載する。  
【各圏域のボランティアニーズ】  
ひがし/ローレライ2：介護予防ボランティア養成講座などでも声がけしている  
アプリコット：以前は有料活動であったが今は無料なのでボランティア募集対応可  
みなみ/四小さくら体操の会：リーダー2名中1名欠員しており急募中  
にしのだいカフェ：認カフェの為、認サポ修了者歓迎  
き た/特に無し ※それぞれ運営リーダーと人材の相性もあり丁寧にマッチングをしているため。  
に し/本町住宅けんこうサロン：急募  
北町センターさくら体操：リーダー高齢化の為  
デイ彩の会：先に入ったボランティアのTさん一人だけで負担増が心配  
花物語カフェ：認カフェ  
認知症カフェぬくいきた：認カフェ
- 令和4年度応援マップについて
  - 印刷業者より11/18頃、第3稿が提示されるので、届き次第、各包括にメール便でお届け。11/29サブスタッフ交流会までに原稿チェックして修正原稿をフィードバックする。
- サブスタッフ養成講座について
  - 令和5年1月13日(金)第13講「地域の現状を共有しよう（地域資源について話し合う）」生活支援C  
o講師担当について/講師は4包括のCoが一度に参加でなくとも良い、年度輪番制などで対応も。
  - テキストと解説書を配布(13講はテキストP39、解説書P56) ※講座で使用するため当日まで保管。
- スマホ講座・相談会について
  - 【スマホ講座】
    - 10月受講者リスト配布/各圏域包括で関りのある方が受講しているかもしれない為、情報共有。
    - 10月講座には33名の応募。9月講座抽選漏れで再応募の方を優先。
    - 往復はがきにすることで受付の混乱はなくなった。また、男性応募が増えた。
    - 来年度も講座実施予定。LINE講座などニーズに合わせて東京スマホ研究会と内容検討している。
  - 【相談会】
    - ぷらっとほ一む六地蔵での初回報告/12名の参加。場所がわかりにくく店先で呼び込み誘導実施。
    - 上記以外に今後、本町暫定やお元気サミットでも実施予定。引き続き周知をしていく。
  - 【その他/ITC関連情報】
    - ひがし公式LINE開設準備中/アンケート実施中。※対象年齢層に向けてLINE利用の有無やニーズ調査等
- スマホサポーター養成について
  - 2~3月にサポーター養成講座を予定している。
  - 受講生は将来、スマホ講座の手伝いや、相談会を担当してもらうなどを想定している。
  - その他、いずれは、地域のニーズに合わせてスマホ講座や相談会に派遣を検討中。

## 6 課題解決“共有化”プログラムについて

### 【啓発動画について】

- ・第二回検討会以降に動画作成となった経過と意図の確認

検討会開催後、プロボノ・エンパブリック・包括支援係で打合せ実施。

お元気サミットなどでの啓発やニーズ把握については、人の出入りも散発的でまばらなためシンポジウムより、これまでの経過を動画にまとめ、視聴した市民に意見を聞いたほうが有効ではとなる。また、先々も動画を使って啓発のツールになるものが良いと動画作成の方向性が話し合われた。

- ・動画作成の概要

課題検討に至るまでの経緯や、検討会での課題認識などを検討会参加者に語ってもらい動画にする。

シナリオや動画作成協力はエンパブリックが行う。

出演対象者：民生委員、市民、金融機関、一層 Co、二層 Co など検討会参加者に声かけする

動画撮影時期：11月初旬、出演対象者に集まってもらい約90分を予定

その他／お元気サミット直前に（11/7あたり？）完成動画の視聴とPJメンバーの事前打合せ予定

### 【パンフレットについて】

パンフレットの具体事例記載にあたり10/8検討会ワークショップで意見を振返って

- ・緊急手術が決まったがお金が無い（困った事例）
- ・T氏の高齢になっての自身のお金に関する工夫など（好事例）
- ・カードを落として困ったはなし（困った事例）
- ・膝を悪くしてお金おろせない。買物に行けない（困った事例）
- ・姑の終活時の金銭管理の先手先手の姿勢に習って、自身も心がけている（好事例）
- ・通帳と印鑑は自己管理。カードは娘と情報共有し、いざとなったらお金の出し入れが頼める。（好事例）
- ・子どもたちとも金銭についてよく話をしている。（好事例）
- ・S民生委員はワークショップで気づきを得て「夫婦で話し合ってみます」と発言（WSの場が啓発に）

好事例の話が多かった。一回目の検討会でも前向きな話題の方が興味を引くなどの意見もあった。

パンフレットの掲載事例は『起こり得るリスクとその備え』両方が伝わる好事例をメインにする方向で。

その他／初期のパンフでお金に関する困りごととは解決しにくいというイラスト図解で○と△表現などしていたが、図が伝えづらいので現在の案からは外すこととする。

## 7 その他

ひがし包括/金子 Co より お隣さんカフェのT氏より、同カフェで共有化プログラムでの課題『高齢者になるとおこりうること』のテーマで講話をしてほしいと依頼あり。

寸劇などの要望もあり、今回の動画も活用して行いたい。カフェにはピア・サロン/I氏やふれ愛・縁がわ/F氏も常連参加しており、他圏域の生活支援 Co も開催協力いただける方はぜひお願いしたい。

- 日時：12月14日(水)14:30~15:30（事前準備含め14:00~）
- 会場：友愛会館1階和室（東町4-10-2）
- 参加：毎回20名程度の参加者。カフェ運営ボラ含めると30名程。

次回開催予定 生活支援連絡会 11月16日（水）14時～

以上

# 会 議 名

令和4年度第7回 生活支援事業連絡会

開催日時 2022年11月16日(水) 14:05~15:35

開催場所 萌え木ホール B会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津、菊地原  
ひがし包括：金子 にし包括：杉山 みなみ包括：吉田 きた包括：松村(記録) ※敬称略

## 議 事 内 容

### 1. 令和4年度第2回サブスタッフ講座修了生交流会について

#### ○進捗状況について

- ・予定どおりの日時で開催。
- ・対象者から事前調査票を集めているところ。現状申し込み4名のみ(にし圏域3名、みなみ圏域1名)
- ・活動したい団体についてアンケートしたところ、にし圏域の3名が彩の会での活動希望。
- ・みなみ圏域の方は一人暮らしの高齢者を対象としたボランティア活動の希望がある。

#### ○その他

- ・前回、グループワーク中に任期の話が出たため、話しができなかったことがあった。再び、同様の行為があった場合、交流会終了後、介護福祉課で話を聞く。

### 2. サブスタッフ養成講座講師について

○2層 Co 全員が講座に参加するのは負担が大きいことから、輪番制とすることを前回連絡会終了後に残ったメンバーで話し合った。

⇒今年度開催分より、第1層 Co と第2層2名(メイン・サブ)が担当することとする。

サブ担当者が次年度のメインを担当する流れで回していく。

2層の担当順は以下のとおり。

4年度	メイン・みなみ	サブ・にし
5年度	メイン・にし	サブ・ひがし
6年度	メイン・ひがし	サブ・きた
7年度	メイン・きた	サブ・みなみ

### 3. 令和4年度応援マップについて

- ・近々第2稿があがる。
- ・ピアサロンについては、第1層 Co から今年どの応援マップ掲載について問合せ、確認し、掲載しないこととなった。  
(みなみ・ひがしに掲載があるが、第2稿で削除する)
- ・12月23日に納品予定。

### 4. 活動団体の緊急時の対応について

○ひがし・きたのさくら体操自主グループにて「緊急カード」を使用中。その共有。

○ひがし・金子氏より

・新しく加入された方にもお渡ししている会場、情報の更新等確認が行えていない会場がある。

各グループに任せている。

○きた・松村より

・今年度より開始した、自主グループリーダーの活動を支えるための交流会(2層協議体)にて議題にあがり、民生委員の方が私用している緊急カードをもとに、リーダーのみなさんで希望を出し合い、リーダーの代表が作成した。

・交流会では、きた圏域の自主グループ共通で使用しようということになったが、いざ開始する段になり、グループによっては参加者の多くがカードを自身で管理できない可能性が高く、運用が難しいということがわかった。導入は各会場に任せることとした。

・このカードを検討することになったきっかけは、管理会場で活動が継続できなくなった方が、自主グループに移ってこられたのち、どうしたら安全に参加することができるか、というリーダーの不安。みなさん、活動中に倒れられるなどの事故が発生したら、とても活動を続けていけないと話されている。

### 5. 啓発パンフレットについて

- ・お元気サミットで来場者に簡単なアンケート実施。文字の大きさ情報量など、概ねよいとの反応。
- ・色づかい、使用フォントに若干検討の余地があるか。第1層でいろいろ試してみる。

### 6. プロボノ今後のスケジュールについて

- ・プロボノからの成果物として、カスタマージャーニーを提示いただくことになった。
- ・12月中に市と第2層を対象にカスタマージャーニーの提示と説明をしてもらう予定。住民はこの説明会には加わらない。
- ・第3回目のワークショップは12月から2月に延期。
- ・そこでは完成したチラシ（パンフ）とカスタマージャーニーをもとに、どのような啓発活動をしたらよいかをみんなで検討する。
- ・第3回の検討会会場として、萌え木ホールを2月13日（月）、21日（火）の2日押さえてある。
- ・エンパブリック・H氏に予定を確認中。その結果を受けて日時を設定する。

⇒

きた包括より

第2回検討会において参加者のみなさまに、第3回は12月末開催とアナウンス済み。すでに11月中旬に入り、予定を機にされている方もいらっしゃると思う。対象者に向けて、第3回の延期のお知らせと第2回検討会終了後の動きのまとめを、すみやかにご案内する必要があるのではないか。

## 7. その他

### ○シニア元気アップイベントについて

- ・4回実施で終了。その後の展開なし。
- ・オンラインは恐らくZOOMを使用すると思われる。市で用意した会場は本町暫定。
- ・昨日（11/15）の時点で2名の申し込み。

### ○来年度のスマホ入門講座等について

- ・年6回の開催が決まっている。LINE講座も盛り込む予定。
- ・会場は西の台会館、マロンホール、上の原会館の3か所。
- ・スマホ入門講座の1週間後に相談会を実施し、スマホ講座受講者のフォローをする予定。

### ○スマホ定期相談会について

- ・菊谷文具店でスタートした相談会は毎回10～12人が参加。1回2時間半実施。
- ・来年度以降も定期開催したいが、東京スマホ研究会のY氏にお願いできればと考えているが、どうするか未定。
- ・ほかの圏域でも手ごろな会場があれば紹介してほしい。2ブース分の机があればよい。わざわざ会場を専用に借りるのではなく、間借りでよい。
- ・1回2時間の開催。開催頻度は月2回以上、できれば週1回。
- ・東京都の事業を使った場合、東京都からの委託を受けたイベント会社等から講師、スタッフが派遣される。

### ○第2層協議体について

- ・開催前に事前に報告をする。課題、協議体のゴールを明確にする。

以上

次回開催予定

生活支援連絡会 2022年12月21日（水）14時～ 於：本町暫定第1会議室